

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	松江市立古志原小学校	実施日	11月
担当教員名	団野 晶夫	実施学年・人数	3年生、111人

学校・学級紹介	本校は島根県松江市の南部の丘陵地帯の南部一帯の高台をなす地域にある。 全校児童は626名で、学級数は通常学級19、特別支援学級3である。
実施内容	体育の時間に「タグラグビー」を行った。 指導時間は8時間で、文教社が発行している準教科書「わたしたちの体育」を活用して授業を行った。 子どもたちははじめて「タグラグビー」に触れたが、感想にもあるように、皆で力を合わせて作戦を考えたり練習したりすることが、とても楽しかったようである。
指導のポイント	指導の際、主に意識したのは以下の点である。 ①「わたしたちの体育」を参考に、一つ一つの動きやルールを確認しながら行わせた。 ②上手にできているポイントを見つけ、全体に広げた。 ③ボールを持って走るコースやパスをもらいやすい位置に動くなど、得点するための動きを指導した。 ④単元の振り返り、一人一人の伸びやチームのがんばりを称賛した。
感想・印象 今後の展望	・子どもたちは「前にパスをしてはいけない」ということが、なかなか理解できなかった。そこで、映像を使って教師が説明したり、チームでの練習時間を多くとって子どもたち同士で相談させたり教え合ったりさせた。 ・子どもたちは「手渡し作戦」「ボール隠し作戦」「フェイント作戦」など、自分たちで考えた作戦を使って、楽しく試合することができた。 ・タグを取った時の声が小さく、ボールを持ったまま走る子どもが多く見られた。タグを取った子どもだけでなく、周りの子どももどンドン声を出す必要があると感じた。